

会報

熊本県日中協会

平成27年
4月発行

《発行》
熊本県日中協会
会長 米満弘之

《事務局》
〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F

Tel 096-356-4847
Fax 096-325-2829

通刊91号

～さらなる友好の絆を～

第33回 春節祝賀会

日中の熱気ムンムン

留学生ら招き盛大に祝う



主催者挨拶をする
米満弘之会長



乾杯！ 知事が留学生等と
なごやかに乾杯



乾杯の音頭をとる
中山峰男常任理事
(崇城大学学長)



開会の辞を述べる田川
憲生副会長(熊本県商
工会議所連合会会長)



祝いにかけつけた
李天然中華人民共和
国駐福岡総領事

賑やかに祝いました。
田川憲生副会長の開会の
辞に始まり、米満弘之会長
の主催者あいさつ、蒲島郁
夫熊本県知事・李天然中華
人民共和国駐福岡総領事の
祝辞があり、中山峰男崇城

大学学長の乾杯の音頭で祝
宴がスタートしました。



祝辞を述べる
蒲島郁夫知事

会場内には、恒例の手作
り餃子実演コーナー、茶道
体験コーナーが設けられ、
参加者たちは自由に体験し
て楽しみました。



会員らと熱心に話し込
む留学生。会場内のあ
ちろこちろで交流の輪
が広がっていました

今年のアトラクションで
は、日本の伝統的な音楽と
して、竹峰流宗家二代目の
福島竹峰さんと裕晶会会主
の宮本裕晶さんのご出演で
唄と三味線による日本民謡
が披露されました。
伝統的な民謡に加えて、
「おてもやん」や「牛深ハ
イヤ節」などの熊本の唄も
あり、その豊かな声量には
留学生たちもびっくり。
また、大牟田フルスの会
の皆さんによる中国雲南省
の民俗楽器フルス（ひょう
たん笛）の演奏もあり、素



閉会の辞を述べる
小野友道常任理事



留学生代表の謝辞を
述べた孫敬軒さん

朴な美しい音色のアンサン
ブルを聴かせてくれました。
最後は留学生に人気の空
クジなしの抽選会、会場は
大いに盛り上がり、留学生
代表の謝辞、小野友道常任
理事の閉会の辞で楽しい会
が終わりました。



春節祝賀会特集



大牟田フルスの会の皆さんが美しいハーモニーを奏でてくださいました



春聯を飾り付けたステージで日本民謡をご披露いただいた福島竹峰さん（左）と宮本裕晶さん



餃子実演コーナー。
皮づくりから包んで茹でるまで
を見ることが出来ます。
もちろん、食べることも！

日本と中国の 「文化」が競演



抽選会で一等賞に当選して
インタビューを受ける熊大
留学生の韓一戈さん



艶やかな着物姿で参加してくださった皆さんがステージにズバリ。
祝賀会に華を添えてくださいました



茶道体験コーナー。
留学生たちもチャレンジして
いました



みんなのよい食プロジェクトとは、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産農畜産物と日本の農業のファンになっていただくという運動です。

ＪＡグループ熊本は、みんなのよい食プロジェクトを推進します。

 **ＪＡグループ熊本**

春節祝賀会特集

「今年も頑張りました」 春節を支えた仲間たち



ぎっくり腰にご用心。留学
生一〇〇人分のお土産の袋
詰め作業も大変です

春節祝賀会は内容が盛り
だくさん。準備の方もいろ
いろと大忙しです。



春聯の立派な文字を書いてくださった必由館高校の皆さん



留学生にも餃子
作りを手伝って
もらいました

中国の春節には欠かせな
い「春聯」の文字は、昨年
に引き続き、必由館高校書
道コースの皆さんに書いて
いただきました。



また、会員や関係者から
募った様々な品物を紙袋に
振り分けて、招待留学生百
人全員分のお土産を準備。
手作り餃子は前日から準備
を始め、朝から皮を伸ばし
て一つ一つ包んでいき、二
千数百個も作ります。

参加した留学生が喜んで
くれるのがうれしくて、毎
年、皆頑張っています。

賛助金ご提供の方々

株式会社近代経営研究所、
熊本華僑華人総会、医療法
人社会団寿量会、創価学会、
崇城大学、日中友好熊本県
議会議員連盟、株式会社フー
マダイワ、阿蘇製菓株式会
社、伊東隆利、野田たけし
事務所、アイウッド株式
会社、青柳英幸、有限会社
阿蘇の司、社会医療法人稲
穂会、柏木明、河津政雄、
北里敏明、株式会社熊本県
民テレビ、熊本朝日放送株
式会社、一般財団法人熊本
県青年会館、國米聰太郎、
株式会社コスギ不動産、小
山和作、佐藤征紀、株式会
社シアーズホーム、社会福
祉法人慈永会、株式会社秀
拓、株式会社杉養蜂園、高
野瑞代、高野正博、鎮西学
園、長尾和治、林康治、巫
祥榮、深川敬一、松崎幸子、
松野憲三、吉田栄太、株式
会社啓文社、東海大学九州

ご協力いただいた皆様
ありがとうございました

協賛品ご提供の方々

キャンパス、武藤宏一郎、
松本崇希
荒尾市、岩田尚子、大代純
市、熊本酸素株式会社、熊
本県、熊本大学、株式会社
熊本ホテルキャッスル、熊
本県中国残留孤児等対策協
議会、熊本工業専門学校、
株式会社熊本放送、小杉直、
小串照彦、國米聰太郎、佐
藤征紀、重光産業株式会
社、徐秋美、医療法人社団寿量
会、株式会社セルモ、崇城
大学、創価学会、株式会
社暖、中垣秀夫、西田鶴子、
野田たけし事務所、平山昌
志、三浦一水、苓北町
熊本製粉株式会社、熊本大
同青果株式会社
お茶菓子ご提供
株式会社お菓子の香梅
(敬称略)



日本の未来のために

J Aグループ熊本は、農業・農村を守り

安全・安心な農畜産物を提供します。

 J Aグループ熊本

“元気は自分達で”

～県中対協～

帰国者らに介護等指導



中国語で説明をする帰国者二世の松永美智子氏(右)と補助講師の野崎瞳氏

熊本県中国残留孤児等対策協議会の中国帰国者(日本に永住帰国した中国残留邦人)やその家族を対象とした「いきいき介護講座」が三月三十日、熊本市国際交流会館で開かれました。身近な問題である「介護」について知識を広めてもら

おうと、自身も帰国者二世で、看護師もホームヘルパーの資格を持つ松永美智子氏を講師に迎え、中国語による介護保険制度説明会を実施、制度の仕組みや手続き、具体的な利用方法などの話がありました。

説明会の後は、熊本市社会教育振興事業団から派遣された健康運動指導士の桑村広子氏とトレーニング指導士の崎村公貴氏による、介護予防運動指導。

どこでも簡単にでき、生活の中で不安に思う動作を



中国語で作成された資料を見ながら、熱心に説明を聞く参加者たち

改善・サポートする運動を実際に行ってみながらの講習会で、参加者たちは楽しそうに運動していました。

介護を受けずに済む健康な体を作ろうと皆さん真剣です



アイテテッ!ときおり笑い声も交えながら楽しく運動しました



熊本県日中協会は中国残留孤児等対策協議会の業務委託を受けており、これらの活動を通じて中国帰国者を支援しています。

『中日友好の懸け橋に』

留学生たちが新年祝う

熊本在住の中国人留学生が新年を祝う催しが二月十日、熊大のくすのき会館に約百人の学生や関係者が参加して開かれました。

今年で二回目。主催者を代表して孫敬軒さん(二二)熊大教育学部三年・九州地区中国学友会熊本地区分会長が挨拶。招かれた中国駐福岡総領事館の丁剣・領事が「周りの人、特に地元の人と仲良くし、中日友好の架け橋になってください」と激励。また県日中協



御馳走が並んだテーブルを囲んで乾杯する留学生ら

会の米満弘之会長、県日中友好協会の重岡和信会長も新年の祝辞を述べました。乾杯の後、祝宴に移り、学生たちは用意された中華料理を食べながら歓談。会場では学生による、ピアノ演奏や歌の披露などがあり和やかなひと時を過ごしました。

ルーフーティエンイー 如虎添翼 鬼に金棒



～四字熟語～

今年の在熊中国人留学生の新年会席上、駐福岡総領事館の丁剣・領事は挨拶で、遣隋使・遣唐使を引用して「中国と日本は古い歴史関係にある」と、友好関係の深さを学生たちに。これからは、近所づきあいなど身近なところから進める「草の根」的な友好推進の中心になるよう提案しました。「町内会を大事にしなさい」といった、珍しく分かりやすさに、学生たちはうなずいた様子。

日中関係が思わしくない昨今、丁領事の言葉は関係改善に向けた期待と希望溢れる、重いものでした。新年の祝賀に相応しいこの言葉が、これから羽ばたく留学生たちの日中友好に大いに生かされることを祈念したいものです。

編集後記

(機関紙編集委員会)

・小串 照彦